日本臨床検査学教育協議会
令和8年度 第2回理事会

開催日：令和8年8月26日(水) 16時20分～17時50分
場　所：対面とZoomミーティングのハイブリッド開催
構成員数：理事19名、監事2名
出席者数：理事18名、監事2名
出席理事：対面出席：坂本秀生(理事長)、勝田 仁、山藤 賢、關谷暁子、高崎昭彦、小野川 傑、杉本恵子、大瀧博文、宮本 綾、石岡聡子、石井直仁、富山智香子、吉田祥子、Zoom出席:高木清司、中前雅美、山口 聡、多田達史、吉田 繁
欠席理事：野島順三　(委任状提出)
出席監事：伊藤昭三、Zoom出席:原田典明

次　第

報告事項

1) 医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会
2) 次期改正に向けた対応
3) 地区部会委員会
4) その他

審議事項

1) 機関誌「臨床検査学教育」の機関リポジトリ登録
2) 今後の臨床検査学教育についての課題共有
   (ア) 臨床検査学モデル・コアカリキュラム
   (イ) 分野別評価
   (ウ) 医療職へ CBT 導入の対応
3) 日本臨床衛生検査技師会と中高生を含む一般向け啓発活動
4) その他

報 告 事 項

1. 坂本理事長より医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_436723_00018.html
主目的は医療職者の地域偏在抑制と、継続的な医療職者の育成
出生者数減少に伴い入学者数が減り、定員充足出来ない学校が生じることはあり得る。その際に1学年の定員を減らすと学校の収入減少につながり、教員を減らさざるを得ない。
その際の学習手段としてオンライン授業、サテライト教室、基幹教員制度等の利用も可能。

2. 次期改正に向けた対応
厚生労働行政推進調査事業費補助金 健康安全確保総合研究分野 地域医療基盤開発推進研究として、研究代表者の福島統先生(東京慈恵会医科大学)より、本会経由で事前調査予定

3. 地区部会委員会
令和8年度　近畿・中国・四国部会総会・研修会　活動報告
日時:令和8年6月14日（日）
開催方法：Zoomによるオンライン会議
内容：令和8、9年度新規役員についてなど
研修会：テーマ「障がいのある学生の臨地実習について」
①合理的配慮が必要な学生への教育的対応
信州大学教育学部　教授 高橋知音 先生
②臨地実習ガイドライン改訂に伴う学生支援体制構築の試み
日本医科大学多摩永山病院中央検査室 輿石大地先生

令和8年度　北海道・東北部会総会　活動計画
日時：令和8年9月17日（木）
開催方法：Zoomによるオンライン会議
東北大学 藤井博司会長のもと、吉田学園医療歯科専門学校が当番校

審議事項

1. 機関誌「臨床検査学教育」の機関リポジトリ登録　別添資料1　臨床検査学教育投稿規定 改訂案
（ア）近年のオープンアクセス推進の流れや大学機関リポジトリの役割を考慮し、学術成果の発信・利活用の促進という観点から、機関リポジトリ登録を認める。
（イ）掲載誌情報等の出典を明記することを条件として、出版社版（掲載版PDF）を認める。

2. 今後の臨床検査学教育につき、今後に向けて下記項目につき課題共有を行った。
（ア）臨床検査学モデル・コア・カリキュラムの必要性
医師・歯科医師・薬剤師・看護師で文部科学省が公開
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/117/siryo/mext_00001.html
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/mext_00021.html

理学療法士と作業療法士では各職能団体が公開
https://www.japanpt.or.jp/assets/pdf/activity/books/modelcorecurriculum_2019.pdf
https://www.jaot.or.jp/document/dl/0b1dfaee826fa2be25b8b9bcedb3f55e/

指定規則はカリキュラムが大綱化され学校での自由度が高い。科目承認校では協議申請科目として、厚生労働省告示第49号で示された科目で具体的分野が示されている。この両者を組み合わせると、コア・カリキュラムとして教育目標と細分化した項目を具体的に示しやすい。
https://laws.e-gov.go.jp/law/345M50000180003
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000199288_00005.html

（イ）分野別評価
新たな認証評価制度は2030年度から開始予定で、機関別認証評価制度では学校の負担軽減を盛り込む予定。分野別評価も検討されている。
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/055/index.html

（ウ）医療職へCBT導入の対応
医師・歯科医師・薬剤師ではすでに実施されており、看護師では日本看護系大学協議会がJANPU-CBTトライアルとして実証事業を行う
https://www.janpu.or.jp/2026/07/14/26236/

本会では模擬試験を作成し問題作成の実績があるので、この問題を元にオンライン試験として、学校単位で行うなどCBT化への対応を視野に入れてもよいのではないか。

3. 日本臨床衛生検査技師会と中高生を含む一般向け啓発活動
臨床検査技師養成校へ多くの中高生及び保護者が関心を持たれれば、結果的に臨床検査技師の発展につながるので、本会として行えること、または日臨技へ要望したい事項の提案